

「おおさか河内材」とは

「おおさか河内材」とは、大阪府の南東部、奈良・和歌山県と接する金剛・岩湧山系に広がる河内林業地で80年以上の歳月をかけて生産されたスギ・ヒノキ材です。奈良県の吉野林業の流れをくみ、約300年の歴史のなかで培われた技術によって作り出される「おおさか河内材」は優良材として多くの方に親しまれています。



年輪が緻密な「おおさか河内材」

「おおさか河内材」は、高密度で植林し、若いうちから間伐を繰り返すことで年輪の細かい真っ直ぐな木に仕上がります。色合いと香りの良さで酒樽の材料として親しまれてきた特長を活かし、現在では建築用材として広く利用されています。

葉枯らし乾燥でより強く

「おおさか河内材」は、伐採後、葉が枯れるまで森林内で天然乾燥（葉枯らし乾燥）をしています。木に急激なストレスをかけずに乾燥させることで、色合いや香りをそこなわず、粘りのある強い材に仕上がります。



地産地消の
おおさか河内材の家づくり
OKネットがお手伝いします



安心・安全の自然素材で住まいづくり

日本の伝統的な素材である木・土・漆喰・和紙などは、体にやさしく、安全な自然素材です。これらの自然素材の長所を存分に活かした豊かな住まいを提案します。

自然素材で安心の住まい

化学物質の使用を抑え、木材を自然のまま使うことでシックハウスのリスクを抑え、安心できる住まいを実現できます。
また、地元の木材を使うことで、地元の森林整備や二酸化炭素の削減にも貢献できます。



骨太で安全な住まい

大断面の構造材を使うことで、丈夫で長持ちする安全な住まいをつくることができます。
年月を経るほどに豊かな風合いを出す木材を、より長く使っていただけるように、しっかりとした骨組みを提案します。

満足の自由な空間づくり

太い梁と柱からなる在来軸組工法は、間取りの自由度が高く、様々な要望にお応えできます。
また、建築後の間取り変更も可能で、将来のライフスタイルの変化にも対応することができます。



おおさか河内材利用促進ネットワーク協議会

おおさか河内材利用促進ネットワーク協議会(通称:OKネット)は、大阪府森林組合、設計事務所、工務店、住環境測定関係者、木材関係者の有志が集まり、平成17年に発足しました。大阪府の協力のもと、おおさか河内材の普及促進のための様々な活動を積極的に行っています。



林業見学



植林体験



間伐体験



完成見学会

参加自由です。お気軽にお問い合わせください。

ホームページ

<http://www.ok-net.info>

事務局・活動拠点

〒586-0055 河内長野市鳩原341 (大阪府森林組合ウッドベースかわちながの内)

TEL:0721-69-0240 FAX:0721-69-0414



無断複製禁止
平成20年3月発行